

海外短信



～ インド ～

インドでアルミホイール造り奮闘中

光生アルミニウム工業㈱

光生アルミニウム工業㈱のインドでのアルミホイール事業展開

弊社は、インド南部タミルナドゥ州東部に位置するチェンナイ市郊外にあるオラガダム地区にアルミホイール製造会社「コウセイ ミンダ アルミナム Co., Ltd.」（略称：KMA）を現地企業との合弁で設立し、2012年9月より鋳造から加工までの生産を開始しました。2012年の11月には塗装ラインも完成し、本格的に生産できる体制が整い、トヨタキルロスカモーター社長の中川様にお越し頂き竣工式を無事終える事ができました。

現在の生産能力は月産2万5千本ですが、トヨタ様からはエティオス以外の受注も頂いていますので、一年後には5万本/月まで増産する予定です。

当初いろんな問題に直面しました。特にインフラについては（電気・水・ガス）深刻でしたが、現在では何とか解決して軌道に乗りかけています。

インドの自動車産業はまだまだ右肩上がりの成長が続きますので、インドへ進出した企業として現地のお客様の要望に応えられる様がんばってまいります。

一方インドでの生活は、日本人には厳しいものがあります。食事では鶏の肉は売っていますが、豚肉、牛肉は手に入りやすく、生野菜も限られたものしか手に入りません。そのため、出張者にいろいろな食材を運んでもらって、食生活の改善を行っています。

また、工場の周りは、多数の牛（インドでは神様）が放し飼いになっており、まるで草原の中に工場があるという状況ですが、多くの企業が工場を建設しており、今後日本人にも住みやすい環境になっていく事を期待しながら、生産活動を続けております。こちらにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。



工業団地内の端に我々の会社があります。



会社の外には牛がいることもしばしば。



工場火入れ式時の様子。



2012年11月竣工式にて。TKM 中川社長様、  
弊社会長 神谷、MINDA 社 MINDA 氏と。